

## 平成27年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立温品小学校	校長氏名	上田 盛之	生徒指導主事氏名	中尾 恵美子
-----	-----------	------	-------	----------	--------

## 取組事例名 『温品なかよしオリエンテーリング』

## 取組のねらい『キーワード 縦割り活動』

- ・縦割り班で活動を通して、学年や学級の異なる友達や地域の方々、教職員と共に楽しく触れ合って交流を図ることにより、望ましい人間関係を深めるとともに、感謝の気持ちを持つ。
- ・集団の一員として、自分の役割を果たし、協力して解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

## 取組の具体的内容『キーワード リーダーシップ』

(事前)

- ・簡単なゲームをしたり、平和集会で折り鶴を一緒に折ったりするなど縦割り班活動を定期的に行う。
- ・「温品なかよしオリエンテーリング」前には、朝会の時間を使って、縦割り班で集まり、どのような順番で回っていくかや、班の決め事など、6年生が中心となって作戦会議をする。

(当日)

ゲーム…地域の方々がお世話してくださる「ふれあいゲーム」コーナーと、教職員が担当するゲームコーナーを数箇所ずつ設け、縦割り班で相談しながら、6年生のリーダーシップのもと、児童だけで回っていく。



クイズ…学年や先生たちからのクイズを解きながら回っていく。

(事後)

- ・なかよしオリエンテーリングでお世話になった地域の方々に、6年生が感謝の手紙を書く。
- ・運営委員会の児童が、縦割り班ごとの得点を計算し、児童朝会で上位3チームの表彰を行う。

## 取組の課題・創意工夫『キーワード 創意工夫』

児童会が主催している行事とはいえ、用意されているゲームやクイズに参加すればよいという状態になっており、縦割り班のリーダーである6年生が自主的に考え行動する場面は少ない。自分たちが創意工夫できる程度の自由さをうまく取り入れていきたい。

### 取組の成果（効果）『キーワード 憧れ』

6年生は、オリエンテーリング中、自分の班の1～5年生の面倒をよくみていた。その姿を下級生たちはよく見ており、振り返りの日記などには、「あんな6年生になりたい」と書く児童も多かった。それを6年生にも返している。他学年も6年生の優しい姿を見て、低学年への接し方が良い方へ変わってきた。



### 今後の展開『キーワード 継続』

縦割り班でスーパー昼休憩に遊ぶ、卒業する6年生に向けての取組をするといったことを考えている。なかよしオリエンテーリングで終わるのではなく、縦割りのつながりが継続できるようにしていきたい。

### 他校へのアドバイス『キーワード 計画的』

年度初めから一年間の長期的な計画を立て、6年生が自覚して動けるような声かけや取組を計画的に入れていくと、最高学年としての自覚が年間を通じて育っていくと考えられる。